

令和2年度卒業論文・卒業研究題目一覧

人間科学系

氏 名	題 目
森 島 聡	大学部活経験の語りから「成長」を見る —京都大学体育会ボート部選手，スタッフそれぞれの立場から—
後 藤 英 人	作品としての茶室
酒 井 渉	没頭頻度に関する lasso 回帰を用いた分析
阿 部 祐 大	自分の興味関心を語る・他者の探究を知る営みを目的とする SNS の開発・実践
大 槻 哲 也	道徳的観点でみる『存在と無』から『実存主義はヒューマニズムである』への接続
大 野 由梨香	後悔することは悪いことなのか
神 田 健太郎	ホストクラブで客はなぜ大金を支払うのか —客とホストの関係性，ホストクラブの特殊性に注目して—
塚 田 真悠子	自由連想と自動記述の接点
辻 侑 真	若年層のコンテンツ消費における価値意識についてのインタビュー調査
村 井 達	普遍的なもの，また特殊なものとしてのコレクション
上 敦 也	責任感の悲劇を超える行為者の悲劇の正体
植 松 俊 介	クラシック音楽の大衆性/正統性の社会学 —ポピュラー音楽との境界線の現在
内 山 翔 太	新海誠にみる風景 異界の描写を切り口にして
岡 本 仁 志	劣等感を抱える青年期はどのように生きているのか
奥 山 大 輝	「ありのままの自分らしさ」を求める就職活動に対して学生はどのように折り合いをつけているのか —自己アピールのマニュアルと「嘘」に着目して—
静 木 銀 蔵	リレーショナル・リーディングに基づく経営組織の構築学生起業「株式会社カタルシス」における当事者アクションリサーチ
田 上 周一朗	カント『判断力批判』美学論における構想力と悟性の関係
立 畠 響 介	ガブリエル・フォーレの病跡学 —音楽の否定神学—
常 山 由 佳	現代消費文化について —サブスクリプションを手掛かりに—
豊 野 友 子	インターローカルな繋がりを活かす地域づくり：三重県尾鷲市を事例として
橋 本 遼 太	ボードゲームカフェが地方都市において果たす役割
深 田 明	フィンランド ポピュリズム政党と北欧福祉国家
細 川 千 夏	教わらない環境づくりを通したファシリテーションの学習
松 岡 陽 樹	近代以降の社会変動と自殺 —役割期待から捉えなおした社会図—
真 部 優 子	アンネ・イムホフ『Faust』について —美学的・政治的観点から—
丸 中 陽 友	広告が扱う性差 ～日本の炎上事例とカンヌライオンズ受賞事例の分析～
蓑 茂 星	現代の若者における体験選択について —心理学における感動研究を糸口にして—

- 三宅 史 晃 実験寺院寶幢寺にみる、現代における革新的な仏教寺院のあり方についての考察
—劇場寺院應典院と比較して—
- 村山 航 平 同一の別人
- 山上 寛 貴 ハロルド・ピンターの『部屋』における「内」と「外」のイメージ
- 吉川 樹 過干渉の内実とその影響を受けて育つ主体 ～青年との「語り合い」を通して～
- PARK YIRANG *The Strange Case of Dr Jekyll and Mr Hyde* におけるハイドの普遍性

認知情報学系

- | 氏 名 | 題 目 |
|---------|--|
| 花岡 暖 | メディア依存が未成年に与える影響と現状の問題についての考察 |
| 白鳥 慈 樹 | Julia 集合が複素球面全体となる有理写像の力学系について |
| 小宮山 貴 仁 | 批判的思考を促進させる Web ブラウザの提案とその活用法の提案 |
| 大倉 知 也 | 紙の書籍の読みやすさを考慮したマーカー冊子型 AR 書籍 |
| 竹田 俊 | 中一日パイリングルの単語処理における類似度・言語切り替えの影響 |
| 前川 拓 海 | LiDAR スキャナを用いた深度データの検証と ARZome への応用 |
| 森山 真 衣 | 視覚運動変換課題を用いたボールキック動作の学習メカニズムの解明 |
| 伊東 理 歩 | 2色の組み合わせによって連想される意味が記憶に与える影響 |
| 井上 小 鳥 | ピアノ演奏技能の習熟と音高一空間変換の関係性 |
| 大場 瑞 己 | 視覚・聴覚刺激によるマグニチュード推定課題を用いた、4人グループにおける二感覚情報統合の検討 |
| 影山 優 作 | Argument Structure and Syntactic Representation (項構造と統語表示) |
| 亀井 理 樹 | 運動等価性と運動学習に着目した書字運動制御メカニズムの解明 |
| 木村 理 香 | 顔と背景の組み合わせの一致度が顔記憶に与える影響 |
| 楠石 千 晶 | 女性アイドルとその自己表現について |
| 越田 華 子 | 「さき」の時間的用法の解釈について |
| 櫻井 亮太朗 | 深層学習に基づいた書き込み済み印刷書類における手書きの要素と印刷文字の分離手法 |
| 佐藤 広 紀 | 大脳皮質下領域の脳活動を用いた深層ニューラルネットワーク特徴量デコーディングによる探索的研究 |
| 鈴木 優 歩 | 顔魅力に由来する社会的報酬の予測誤差がエピソード記憶に与える影響 |
| 須藤 宏 明 | 投球動作とボールの到達位置の予測 |
| 関 玲 | ラプラス方程式およびボワソン方程式の基礎的考察 |
| 土井 公 宏 | Conditional GAN における条件付けの方法の生成画像の品質への影響 |
| 長谷川 大 海 | CFR アルゴリズムのボードゲーム「シノミリア」への適用 |
| 半田 高 瑞 | 発達障害の要支援度評価尺度 (MSPA) における評定と質問紙との関連 —健常域を対象として— |

藤 村 泰 成	動的視覚環境下における直立姿勢制御系の適応性の解明
藤 吉 春 菜	The effect inflammatory response on exercise adaptation in mice skeletal muscle (マウス骨格筋における運動適応に対する炎症応答の影響)
松 永 早 弥	非難の意図で用いられる「なんで～」の機能
丸 山 貴 大	環境や社会的文脈が群集の智慧効果に与える影響
三 島 大 空	保険会社の安全性の評価
森 下 義 崇	深層学習を用いた株価時系列データの予測についての調査
山 下 将 弥	視覚探索課題を用いた個人での視覚探索と二者協働での視覚探索の成績比較
吉 澤 瑛	認知言語学的多義モデルについての一考察 ―現代日本語「かける」を例にして―
吉 田 采 加	日本における第三言語習得はどうあるべきか
和 田 直 也	野球のバッティング動作におけるバットの重量の変化に対する短期的適応に関する研究

国際文明学系

氏 名	題 目
川 中 望 光	関東祇候廷臣の研究 ―「公佐流」の考察から―
石 垣 太 輔	我が国の会計・監査制度の改訂と不正会計の抑制分析
久 能 賢 蔵	損失関数最小化アプローチを用いたレーティング手法の改善と競艇予測
ドニソン 詩音	個人のアスピレーションにおける欲求理論の操作可能性の検討
檜 原 健 斗	無抵抗 ―すばらしい新技術
松 本 侑 也	マルチジョブホルダーと雇用保険
飯 田 野 杏	ジェノサイドと闘った少女たち ～アンネ・フランクとカン・ドッキョン～
飯 田 雅 大	就職活動におけるゲーム性について ～「自己分析」の過程と機能から考える～
伊 田 晃 都	日本の職場で「ヴェール着用」は許されるのか
小 川 敦 基	幸福が目的となる社会 ～脱貨幣経済の可能性～
小 林 悠 太	『古今著聞集』二二三話の研究 ―『文机談』の逸話との関連性と成立の源流―
齊 藤 喬	日本の ODA 政策の歴史と課題 ―対インドネシア援助におけるコンディショナリティーと民主化―
城 田 和 泉	長時間労働防止の観点からみる公立学校教員の労働時間管理
中 尾 真 徳	官僚制組織から次世代型組織へ
橋 本 悠	日本の「改革」はどこから来たのか ―金融制度改革を中心に―
森 本 耀 太	ハイパーインフレーションの政治経済学
吉 田 龍 生	日本における賭博の在り方に係る考察とその改善に資する考案

文明環境学系

氏 名	題 目
有 田 拓 世	アニメ聖地巡礼について 数と分布・制作年代の観点から
小 野 廉 太	幕末蝦夷地村の景観的・空間的特徴に関する考察 ―蝦夷地経営図の読み取りを通して―
平 岡 哲	三原城跡に対する行政の史跡的価値づけに関する研究
梗 田 康 平	ペットの殺処分を中心に見た日本と諸外国の動物福祉比較 ―日本, アメリカ, ヨーロッパ, 中国の現状―
田 中 諒	半島中部の都市形成・発展に関する比較研究 ―鹿屋と知覧を事例として―
塚 本 まゆ子	伏見地域における工業の展開及び分布の特性
出 口 裕 大	祖国喪失と詩 ―パレスチナ民族詩人マフムード・ダルウィーシュの初期作品を通して考える―
中 村 水 晶	戦後太田川の河川整備の政策と利用に関する研究 ―雁木に注目して―
宮 田 眞 緒	消滅可能性都市における道の駅の役割 ―「お茶」をテーマにした地域の活性化
山 本 椎 葉	高知県における土佐風の受容形態の変遷
渡 邊 栄 駿	スクエアダンスクラブの「学習」にみる共同体の維持構造

自然科学系

氏 名	題 目
佐 竹 夏 実	ボルネオ島の熱帯低地林の一斉開花期における訪花性ゾウムシの利用植物選択
服 部 竜 士	ニホンアマガエル骨組織中の炭酸塩安定同位体組成の解明と生態解析への応用
宮 武 宏 輔	マイワシの経験水温履歴に基づく 2018-2019 年資源量変動要因の推定
安 福 望	構造規制白金電極における酸素還元反応に及ぼす支配因子の解明
福 島 星	単細胞緑藻 <i>Oophila</i> sp. の走化性に関する研究